

これは当初に公務員精神を叩き込むことを申しあげてあるので、各地で行なうてあります。つわゆる出詰め教育と申します。これはどの中でもたいがい行なうてある要するに泊まり込みの出詰め教育を新規採用者にやるあります。それのやうな内容、その内容を聞くと、よりますと、そうした直接する仕事に携わるといふ内容を叩き込むということ、三日なりあるものは五日なりというものを出詰め教育をすると、私が一番職員として入ってきた時に叩き込まなうと、うちまでも一年経ち二年経つと、その中のつ染まりやすい面のつわば悪し面に染まりかちであると、そういうことのないためには、やはり新規採用者に対しての公務員であるという精神を植之込むということにあり、私は新規採用者について何かやたらとどうかということに申しあげたわけでありまして、そういうふうな観点から立て、今後新規採用者に対する教育をすまいか、その点についてお尋ねしたい。

○市長(石川常太郎君)

私にいたしましては、ご説もつとめてござ

います。したがいまして担当の課長と十分に研究いたしまして対処してまうりたいと思ひます。

○一番(貫井喜代次君)

以上で私の質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長(石川信義君)

次に二番 宮沢良一君。

(二番 宮沢良一君 登壇)

○三番(宮沢良一君)

私のために貴重な時間を一般質問させていた

だき深く感謝する次第でございます。すでに通告とあり順を追

て質問させて頂いたと思いますが、最初に清掃行政についてお尋ねいたします。

福生市におかれましては、狭い限られた場所でのごみ問題では

代々の為政者並びに先輩が大変苦勞してこられたところであり、

今なお頭を痛めておられることはたれでもが周知と思ひます。

しかしこの問題は市民みんなが協力し、国民全体が考えていかな

ればならない問題になつてきております。なぜならばわが国の物

資の大半は、外国依存であり、資源に限度があるという

ことは言うまでもありませんが、中東戦争に端を発し、アラブ

からの石油問題そしてトイレトペーパー、洗剤、砂糖、塩に
至るまで品不足という、どこでどれかのささやきが原因なのか
買ため、そして値上がりという、あつという問のできごとであり、
田中総理曰く、「トイレトペーパーにしろ塩などは幾らでも
あるのは、なぜこうなつたのか原因を今究明してきます」と申
してしまつたが、これはたれともなくいつかはこのような時代が
来る人ではなかと、予想されるも当然の結果であるか、あるのは
大企業の商品直上りの戦術なのか、それにしてはついに問まで
国や大企業が消費は美徳であるという国民をあおつたわ
けです。今はけちけち運動、ソレ政府の政策が場当たり的で
あるか、国民の前にはつまり露呈したようなものでございます。
このように国や大企業の消費は美徳だとかの声をあお
り立てられ国民の中には財に対する価値感の変化をもたらし
その変化は当然利用できるものまでごみとして捨てられるよう
になり、年々ごみの量がふえ遂にはごみ戦争とまで発展したと
思われるわけですが、ソレになつてもととと資源不足の国である

福生市議会



との自覚をあらためて、この際認識し物に対する愛着を、そつと
ものを大事にする精神、これがごみ減量対策につながると思ひ
ますが、市長並びに担当課長はごみに対する減量問題をどの
ように考えておられるのか、明確にかつ具体的にご答弁願ひます。
府中市におきましては不燃物を去る三日より自治会と回収業者
とタイアップし年間を通しての単価を定め、ステーション方式を取り
入れて一つは資源の回収を目的に、二つには減量を目的に、三つには
収集の効率化、四つには売り上げ金を自治会の活動資金に充当
する、五つにはこれらを通してごみの認識を市民の皆様にあかつても
らうという五項目を目的にスタートしたようですが、これらも参考
にならぬと思ひます。

なお不燃物処理についてでございますが、五日市におきましては一日多
い時でも七台から八台台とときで五台から六台の不燃物を業者が回
收してもらう、五日市町としては缶をふす圧縮機を、またびんを
粉碎する粉碎機を、さしあたり回収費として月一台、二十五万円
を業者に支払つてゐるようですが、福生市におきましては一台四十五万円



という、六合するから月に百二十万円の差が計算上できています。福生市の場合不燃物二合に一月四万、年にすると四百八十万円という計算になるわけですが、それでも業者は最近値上げするとの話も伺っているわけですが。私も業務に対しては人件費の値上げもあるでしょう。長年回収していただき感謝を申しあげておる次第ですが、とかく一社だけの委託となると長年の間にはいろいろとあがまを生じてまいます。独占的事業にほらないためにも、他の業者を入れ、言うまでもなく市民の税金ですから、価値的に安くやってくれる業者にお願ひし、なおそれか市民サービスにもつながると思ひますが、この点市長並に担当課長はどのようなお考えか、ご答弁願ひします。

さらに不燃物の投棄の問題ですが、地元の反対はなかなか握れない現状ですが、仮に穴が握れて埋められても現形のまま埋めるのは何年もたなりわけです。そこで私が提案したのは五日市方式をもちい、なお業者が自分の土地で処理できるとなれば、いくら国有地だからといって地元の反対している所に埋めなくてもすむと思ひます。

すが、これらの点も合わせてご答弁願ひします。

次に、災害対策に移らせていただきます。

最近物価の高騰により地震の話題が一時ほどにやわいまいせんが、忘れたころに災害はやってくると言われまします。もし地震が起きたとき飲水量は確保できるのかどうかと過田貫井議員からの一般質問におこたえされましたが、この時の市長答弁は井戸が何か所かありますので、水の確保という答弁だったと思ひます。

光般行政視察で、市民の皆様と本当によい勉強をしまして、いりました。これは実際新潟地震に井戸水が役立ったのかどうかという全然役立たない。なぜならば地震でゆさぶられ、水脈がかわってしまった。それに水がにごってしまう、その上不純物まで入ってしまった。飲み水ではない。そのため近くでは豊栄市から遠くは高松の車まで給水をして新潟市に来てしまったということでした。もし新潟地震が新潟市でやったら大変なことになるでしょう。関東一月の大地震が絶対起きないという保障もありません。最近市では、地震に対するあなたの心構え、という広告を各家

庭に既布しつたのであります。大変結構なことだと思っております。
私一ツ書き加えてもらいたかったのは、各家庭最低一日分の飲水量を
確保しようということを書き加えてもらいたかったです。さらに市と
しては災害用濾過器を購入し、天然の多摩川の水を濾過し、
災害にすぐ役立つよう、日頃の準備が大事だと思うのですか、
市長はどのようにお考えでしょうか。

また地震の際はあわててしまい、人心の動揺が激しく、新潟
地震等では、大事は出なかったが、佐渡が埋没したとか津波
がくるとかいうデマが余計に人々をあわてさせたようです。
安全な避難場所、そして何よりも確実な情報を流すことが最も
望まれるようです。この点市長はどのようにお考えでしょうか。
豊栄市ではその日のうちに広報を出して罹災者を元気づけ
大変喜ばれたそうです。その他アマチュアハムがかなり活躍した
ので、普氏アマチュアハムの掌握も必要との話でしたが、福生市
にあつては、アマチュア無線をされている人は何人くらいいるか、おわ
かりでしたらお聞かせ願います。

ソナレにソナしてしましても飲水量の確保は大事ですので、ぜひ濾過
器を設置してもらいたい。九十万の濾過器三巻購入すれば、福生
市民が災害時に飲水量は心配ないとなれば安いものです。

最後に通勤自転車対策についてお尋ねをいたします。
やはり先ほども述べましたが、アラブの石油輸出制限による
エネルギーの不足からオランダ等におそは車から自転車へと切り変
わり自転車までお目見えするといふ国民全体がエネルギー節約時代へ
突入してきているようです。わが国におそはオランダよりは石油の確保が
なされているようですが、しかしいつまでこの状態が続くかさうに悪化
するのかわかりません。はつきりした予測がとれないというのか偽ら
ざる現状を把握しようか。カワリンかと思うように買えなくなれば、
自転車は必然的にふえてきます。最近バイクジョー運動が盛んに
なり、方々で自転車専用道路等が作られ、一時より自転車の
量が増えたとふえてまいりました。わか福生市にあつても面積の割に
五カ所も駅があり、その通勤にマイホームから駅までの自転車利
用が最近これに多くなり、牛込駅などは道路に自転車はみ

出てまいりました。

参考までに各駅に置かれてゐる自転車の台数ですが、福生駅東口に百二十台から百三十台、東福生に四十台、牛浜駅に約六十台、西武拝島駅に百二十台、熊川駅に今よりもう少し増えているが、おんだん道路にはみ出して、交通防害にもなつてまいります。それにあつたに公団住宅に八百二十世帯の入居者も決まらうと思つてゐます。したがつて熊川駅、牛浜駅等はかなりの自転車の台数が増加してゐることでしよう。この点に對し市長並に担当課長は何らかの対策をお考えなのかどうか、お聞かせ願ひます。

自転車の利用者は、市名の自転車置場をぜひ設置してほしいと強い要望をしております。用地の問題もありまして、自転車通勤の皆様のご願ひをぜひとりあげていただき、快適な自転車通勤が出来るよう賢明なる市長の答弁を期待し、私の一般質問をいたします。

議長(石川信義君) 承より十一時三十五分まで休憩をとります。

福生市議会

午前十一時三十分 休憩

午前十一時三十分 開議

議長(石川信義君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(市長 石川常太郎君 登壇)

市長(石川常太郎君) 宮沢議員さんの質問に對しまして、

答弁を申しあげさせていただきます。

技術的のこともございますので、私があらましを申しあげまして、担当の課長から細かく説明を申しあげさせていただきますので、ご了承を賜りたいと思ひます。

清掃行政につきましては、いろいろの指示のとおりでございまして、生活の変化から大変大量のゴミがあるようになってまいりました。最近、石川問題から急激に国の方針もかわるようになって、ございまして今後、ゴミの問題がどういふようになるかといふことは、想像もつかないわけをございするけれども、現在の日本の置かれてゐる地位から申しまして、資源の点、あるいは節約という美風の点、あるいは

また、民主主義のルールの点等につきましては、絶対に、ごみというものはご指示のようにはいけなければならないということも考えておるわけでございますが、これもやはり先ほど申しましたような非常にむずかしい問題でございます。大変これも私のぬかりでございます。まして、もっと早く手をつけるべきでございます。なかなか構想がまとまりませんで、大変に伸び伸びはなつてしまったわけでございます。全員の協議会の席に参ります。私どもの考えております市民に対するPRにつきましては、発表さしていただくと思つておるわけでございます。年内にも福生市にごみ減量運動の協議会というふうなものを作りまして、ごみに対して徹底的なPRをし、またそれについての対策を強力に進めてまうたいというふうに考えているわけでございます。一体にほんとうに民主主義が発達したならば、他人に迷惑をかけるということでもございません。なほ文らで、ごみは減らなければいけないわけでございます。なほ文化が進み、文明が進んだという現今でございますが、文明というものはやはり物づくりに片寄りまして、精神文明が全く進歩し

こうかむしろ退歩している時代でございます。やはり社会教育、あるいは学校教育等がごみ運動に対してしても根底をなすものであり、一番必要なものであるというふうに私は考えます。したがって、ごみの協議会を作りましても、児童、生徒からそのようなお話をPRするように、学校にもお願いをしていただければいけないというふうに考えております。そのような強力な運動を遅ればせでございますが、取り組んでまうたいという意気込みであるわけでございます。

その中で二番目の不燃物の処理状況等のご質問でございます。それども、業者を二社にしたのがよろしいんじゃないかというふうなお話を伺いますが、私もそのように考えますが、これにつきましては担当課長からご説明を申しあげます。

また、穴の反対等がございまして五日市方式等のお考えもお持ちのようでございますが、これにつきましては大変よろしいことなんでしょう。ございますけれども、都におきましてはなるべく各自治体で出たごみは自治体で片づけるような方法でございますので、どうも穴につき

ましても、他の自治体の行政区域に接しているという事は、非常に困難でございます。何とか市内で協力をいただきたいというふう
に現在のところ考えているわけでございまして、これらの点につきまして
は議員各位に大変な迷惑心をあかけようというわけでございますが、
この現状等につきまして、大変なご協力をいただきたいと思います。課長
の方から五日市方式等に関連いたしました。現況のご説明を申しあ
げたいと思っております。

大変に簡単でございするけれども、基本なり申しあげまし
て細部に つきましては、課長の方からお答を申しあげます。
二番の災害対策でございするけれども、飲料水の確保に
つきましては、議会の厚生委員の先生方が、豊栄市の視察
をいたしまして、その結果につきまして私も詳細なご報告を
しようと思っております。深く反省をするところがございまして。
お説のとおりでございまして、私の方でも井戸につきまして前回の
議会に おきまして、お約束もございするので、細菌の調査等
をいたしました。ほとんどの井戸が細菌的に汚染をされてあり

まして、飲料に供せる井戸は、一カ所しかないという始末でござい
ます。まして地震の際に断層が来た場合には水が無くなるという
ようなお話をしようと思いたしました。したがってこれにつきまして
は新年度予算に おきまして、濾過器の設備をぜひいたしたいと
いうふうに考えてある次第でございす。

アマチュア無線の数の つきましては、私は大変恐縮でございす。が、
これはほんとうにあはすかしいんでございす。が、現在のところ教を
確保して ありませんので、課長の方からご答弁をさしていただきた
い。

自転車の通勤者の置場につきまして、後ほど担当の課長
からご説明を申しあげますが、ただソマのところ計画を持って
ありまして、都の方に補助のお願いを来年度に おきまして
いたしたいと考えております。これにつきまして、きわめて適切
なるご質問をしようと思っております。ありがとうございました。申しあ
げる次第でございす。

大変に簡単で、ございするけれども、担当課長からごわし

くご説明を申しあげますので、何とぞお聞き取りをいたしたま
たくお願ひ申しあげ、次第でござります。

まことにありがとうございます。

○環境保全課長（八木房雄君） 自席からお許しをいたしたま

して、各派議員さんのご質問に対してお答えいたします。

ご指摘のとおり非常に私たちの福生市におきましては
ごみ戦争と申しましたように、杉並の端を突きましたごみ戦争
は非常に深刻な問題でございまして、緊急に解決をはから
ねばならないという状態でございます。私どもの市におきまし
ても、市民のPRをすべしというやっておりますが、まず私
たちのごみ戦争の敵はどこにあるのかということ、ございすが、
私たち自身一人の心かけでございすが、これが敵でございすが、
この問題については一般の方々、市民の方々にあつとPRいたし
まして、市民の皆様さん方のご協力がなければ、このごみ戦争
に打ち勝つことが出来ないわけでございします。先日の新聞
にも家庭のごみは宝の山と、こういうような見出しで書いて

ございしたか、私どもの不燃物を収集してありますごみを見
ますと、大体半分くらいが再生利用できるといふうなごみで
ございします。

非常にごみの量も年々増加してまゐりまして、四十一年度から
四十七年度まで比較しますと、人口との比較でございすが、人口は
四十七年から四十七年に対して、伸び率が一七〇%に対して
ごみの増加量は四三〇%にも達してゐるわけでございします。これ
を見ますれば非常に不燃物それから可燃物のごみの増加が、
今後ますますふえるんじゃないかというふうに考えてあります。
これらにつきまして、今市長の方から答弁がありましたとおり、
対策として、これは委員会を作りました。十分検討して、ソコ
たいと、また各種団体それからPTA等におきまして、ご協力
を得まして、この減量問題に取り組んでいただくという覚悟で
ございします。

次に府中方式というお話がございしたか、確かにこれもごみ
減量の一つでございします。私どもの市としましてはPTAとか所

会で廃品回収等お願いくつあります。この十日にも富士見町会
にありまして、廃品回収を実施していただいております。なお十一月
にも内出町会等におきまして実施していただいております。と
大体廃品回収業者の方々とお話を申しあげたところ、大体いさ
な町会でも一月ごとの四万から五万くらいの収益が上がっているというふう
なお話を承っております。今後これらにつきましても各町会に
お願いいたします。やれます。ごみの減量にも役立つので
はなしかというふうに考えております。
それから業者の問題でござりますが、ご指摘のとおり私どもも
一社で済ませようと思っておりますが、これらにつきましても不燃物と可燃物
分けまして、二社にしたら非常にいいのではなかと今検討して
いる段階でござります。出来るものなら二社にいたしましてなほ検
討していただきたいというふうに考えております。なお五日市方式で
ござります。厚生委員会でご視察をいただいたわけでもござ
ります。非常にその圧縮機、金物類の缶詰等の圧縮が
非常にいい結果ではなかと私どもも考えております。

ビンの破砕機、非常にこれはよく破砕されております。このごみ
穴の投棄業につきましても、何台の一台にも減るというふうに伺って
あります。ぜひ一つ私どもも検討してみたいというふうに考えてお
ります。

それから飲料水の確保でござりますが、ご指摘のとおり一月に
貫井議員さんからのご質問で私もご答弁申しあげたんですが、
十一月に厚生委員会に随行いたしました豊栄市を見せていただ
いたわけでもござります。先ほど宮沢議員さんからもご質問が
ござりました。井戸水等につきましても水脈もかなり
非常に使えなくなっている状況が多いというお話も承っております。
そこで一番役に立ったのは何かと申しましたら、やはり濾過器が
非常に役に立ったと、この濾過器による新潟市へ豊栄市か
ら緊急の水を送ったと、こういうお話も承っております。

幸いに福生市におきましては、玉川上水とかそれからほたる公
園の所、それから川達さんの所に相当の水量がござります。
湧き水が出ておりますが、これらにつきましても濾過器を一台

購入いたしました。災害時の飲料水の確保をはかりたい。なお、幸いうちの市には酒造工場が二工場ござります。これらにつきましては、私先日調査したきたわけでございますが、非常に大きな濾過器を有しているわけでございます。私どもの方の能力は、大体毎時一、三〇〇リットルでございます。酒造の方で所有しておりますのが、毎時八五〇リットル。これは二基ござります。災害時の一日の使用量の水は約一リットルと聞いております。これにプラスしては、一時間に約一七、〇〇〇リットルですから一七、〇〇〇人の飲料水を確保することができるといふことでござります。なおこれにつきましては、攪拌式のポンプを買いたしまして、これに中継すれば非常に能率が上がつてよいんではなかというふうには、確信を深めております。なお来年度予算にあきましては、担当課と協議したしまして、東京都から消化バケツというものが各世帯に配布される予定になつております。これにつきましては、大体九リットルからい入るといふ関係上、これらにつきましても、二質問のように各家庭に飲料水の確保について、ご協力を得れば、大体各家庭の

水は一日の合分は間に合ふのではなかと考えております。

なおまたアマチュア無線の関係でござりますが、福生市には約三十機ござります。これらにつきましても非常に災害時の情報に指摘のとおり情報が非常に重要であると、デマも飛ぶということが、確実に情報を流して市民を不安から一掃してあげるのが、私たちの一番重要な任務であると考えておりますので、これにつきましても十分連絡をとつて万全を期したいというふうには考えております。

大変おつぱくな説明でござりましたか、ご答弁とさせていたいたします。

○建設課長（黒田 登君） 自席からお許しをいたしまして二十番議員さんの二質問にお答え申し上げます。

現在の指摘のとおり市内各駅前に合せて約三百台の自転車が乱雑に放置されております。私は道路交通上安全対策の面から、非常に憂慮される問題でありますので、交通安全施設整備事業の一環として実施計画を立てまして、現在設置